

横田地域統合小学校 校名候補の意見書提出

横田地域統合小学校の校名候補の意見書が3月10日、横田地域学校再編統合推進委員会の廣原鶴松総務部長から糸原町長および藤原充博議長に提出されました。

校名候補は、同委員会が昨年11月28日から12月31日にかけて募集し、2回の選考を経て、応募のあった44件から10候補を選びました。

今後は、令和7年4月の開校に向け、町及び議会において校名が協議されます。



▲意見書を提出される廣原部長(右)

提出された校名候補

学校名	読み仮名
横田	よこた
よこた	よこた
たたら	たたら
斐乃上	ひのかみ
奥出雲	おくいずも
簸の上	ひのかみ
奥出雲南	おくいずもみなみ
南	みなみ
たたら里	たたらさと
四つ葉	よつば

第45回全国スポーツ少年団剣道交流大会 第32回全国高等学校剣道選抜大会

第45回全国スポーツ少年団剣道交流大会および第32回全国高等学校剣道選抜大会の出場選手に対する激励式が3月8日、役場仁多庁舎で開催されました。

第45回全国スポーツ少年団剣道交流大会は3月25日から27日にかけて新潟県の謙信公武道館で開催され、阿井地区剣道振興会スポーツ少年団の渡部魁斗さんが出場しました。

また、第32回全国高等学校剣道選抜大会は3月26日から28日にかけて愛知県春日井市総合体育館で開催され、横田高等学校剣道部の吉原桃姫さん、吾郷まりかさん、森山樹乃さん、八澤理南さん、渡部ありささんの5名が出場しました。

激励式において阿井地区剣道振興会スポーツ少年団の渡部さんは「島根県代表として、まずは楽しんで、精一杯今までの練習の成果が出来るように頑張りたいと思います。」と述べ、横田高等学校剣道部主将の吉原さんは「それぞれのチームの役割を全うし、勝つところで勝つて、抑えるところで抑えて、勝利へ導いたらと思います。」と述べました。



▲写真左から松田教育長、渡部さん、吾郷さん、森山さん、吉原さん、八澤さん、渡部さん、糸原町長

ホッケー高校三冠 制覇顕彰式

令和4年度に、高校ホッケーの3大会であるインターハイ・国体・選抜を制覇し三冠を達成した横田等高校男子ホッケー部に対する顕彰式が2月28日、横田コミュニケーションセンターで開催されました。

顕彰式は島根県ホッケー協会が主催し、横田高等学校男子ホッケー部からは選手と監督が参加しました。記念として島根県ホッケー協会会長盾と奥出雲町記念盾が授与され、快挙をたたえられました。



東京オリンピックホッケー 競技日本代表が子どもたちにホッケー指導

東京オリンピック2020のホッケー競技に日本代表として出場した横田高等学校出身の選手を招き、子どもたちにホッケーの楽しさを伝えるイベントが3月5日、三成公園ホッケー場で開催されました。指導をしたのは、膳棚大剛さん、田中世蓮さん、落合大将さん、福田健太郎さん、山崎晃嗣さん、錦織えみさんの6選手です。参加対象は、小学3年生から6年生までの児童、約40人が参加しました。子どもたちは、選手の丁寧な指導で、ホッケーの楽しさを実感していました。



島根リハビリテーション学院卒業式

島根リハビリテーション学院の卒業式が3月10日、町民体育館で執り行われました。

卒業生は理学療法学科31名と作業療法学科26名の、合計57名です。

卒業生は、学院で学んだことを活かし、それぞれの道へと歩んでいきます。



ごうぎん文化振興財団 町の図書室へ図書カードを贈呈

公益財団法人ごうぎん文化振興財団より奥出雲町の図書室に対し、図書カードを贈呈いただきました。

3月9日に開催された贈呈式において、山陰合同銀行三成支店の三好英世支店長から、奥出雲町農村環境改善センター図書室の郷原喜美子室長に図書カード5万円分が手渡されました。

この贈呈を受け郷原室長は「図書室の蔵書が増えるということは、町民の方々にしても宝が増えるということだと思っております。」と挨拶しました。



▲三好支店長、郷原室長

「小さな親切」 実行章贈呈

「小さな親切」実行章の贈呈式が、3月9日に行われ、「小さな親切」運動の山陰本部事務局を務める山陰合同銀行より受賞者に対し、賞状が贈呈されました。町内の受賞者は、個人表彰が牛尾吉郎さん、団体表彰がイチヨウクラブと有限会社勝山建設の2団体です。

「小さな親切」運動は、「できる親切はみんなでしよう、それが社会の習慣となるように」をスローガンとする全国規模の民間運動で、実行章は、「小さな親切」を行った方を、推薦に基づいて表彰しています。



▲写真左から三好支店長、イチョウクラブのみなさん(中央3名)、牛尾さん

令和5年度 奥出雲町役場機構改革

複雑多様化する行政課題に迅速かつ適切に対応し、町民サービスの向上に資する機能的な組織体制を確立するため、4月1日に機構改革を行いました。町が目指す「総戦力のまちづくり「奥出雲創生」～人口減少にみんなの力で立ち向かう」の実現に向け、新たな機構において職員一丸となり業務に取り組んでまいります。

機構改革の主な内容

1. 新たな課の設置

●政策企画課

複雑多様化する行政課題の解決には、各課の取り組みの連携強化が必要です。このため、町長が行うトップマネジメントの補佐役として政策企画課を設置しました。各課の取り組みが効率的・効果的に機能するよう課間調整を行います。この他、政策企画課では、総合計画や小さな拠点づくりをはじめとした各地域でのまちづくりの推進、JR木次線や路線バスといった公共交通の業務を担います。

●環境政策課

本町に豊富に賦存する森林資源を活用したエネルギー政策を推進するため、林業とエネルギー政策を所管する環境政策課を設置しました。森林環境譲与税を活用し、森林保全によるSDGsへの取り組みと、森林資源の活用を図るバイオマス産業都市構想の再構築を進めます。

●定住産業課

これまでまちづくり産業課で取り組んでいた業務のうち、定住業務、商工労働業務と観光業務、ふるさと納税業務を担う部署として定住産業課を設置しました。

この他、地籍業務は税務課に、学校再編推進課は、係として教育魅力課において引き続き取り組むなど、一部の業務について所管課の見直しを行っています。

2. 機構改革に併せ係制を導入

奥出雲町では平成24年度からグループ制により業務を行ってきましたが、この度の機構改革に併せ係制に変更します。係制にすることで、課内の指揮命令系統と職責、事務分担を明確にするとともに、若年層からマネジメントの経験を積み管理職としての人材育成を図ります。

4月1日より、農業振興課、農業委員会、農業公社は横田庁舎に移動しました。